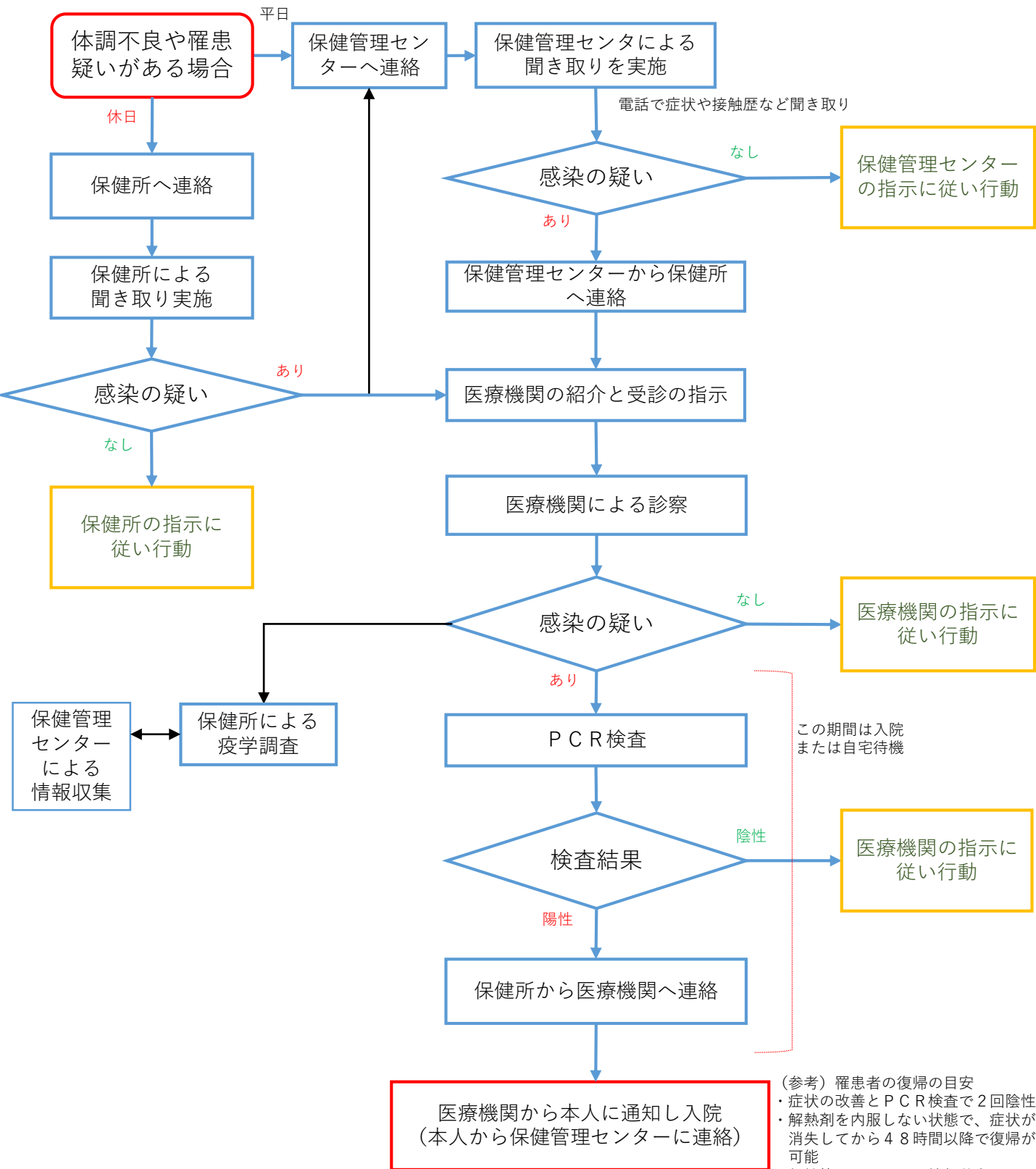


# 1. 罹患者確定・入院までの流れ等



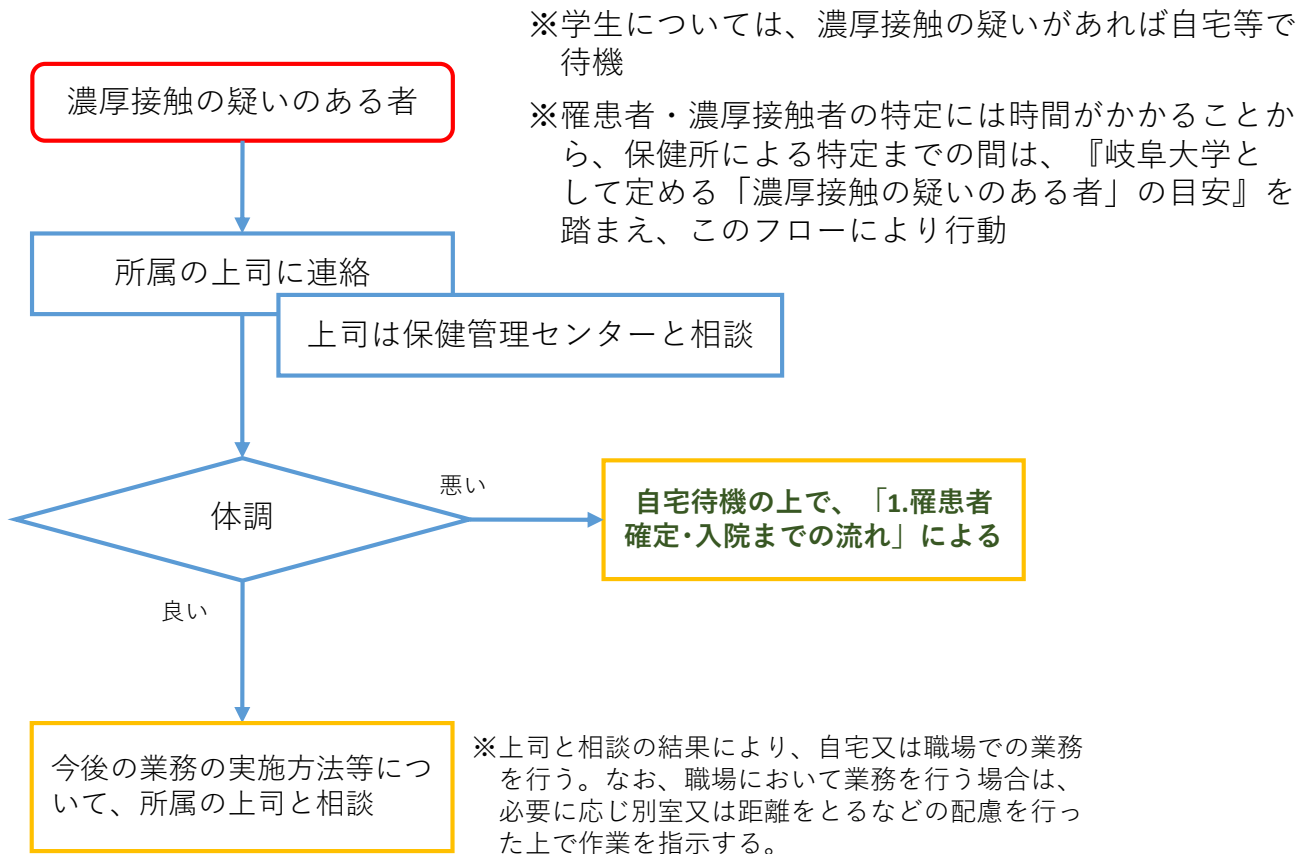
(参考) 罹患者の復帰の目安  
 ・症状の改善とPCR検査で2回陰性  
 ・解熱剤を内服しない状態で、症状が消失してから48時間以降で復帰が可能  
 ・保健管理センターと情報共有

※上記によらず、風邪の症状がある場合は、来学自粛を要請

## ・学生・教職員が保健所から濃厚接触者と特定された場合の行動

- ・学生・教職員を問わず、保健所から濃厚接触者と特定された者は、保健所の指示に従い自宅等で待機

## ・教職員に濃厚接触の疑いのある者が発生した場合の行動フロー



### (通常業務への復帰の目安)

- ・接触した「罹患者の疑いのある者」が、保健所で「陰性」と判断された時点
- ・自身の健康状態が良好であること
- ・復帰の条件として接触後14日間は、手指衛生の強化、マスクの常用、体温測定など健康観察自己管理を徹底すること